

2019年度 第2回 iCS (いいケモセミナー)

Meiji Seika ファルマ Webカンファレンス

がん治療に伴う口腔粘膜炎 われわれはどう対処すべきか

日時

2019年7月30日 (火) 18:30~19:20

会場

病棟9階 カンファレンスルーム

- がん治療に伴う口腔粘膜炎の現状
- がん治療に伴う口腔粘膜炎の診断と治療
- 症例カンファレンス
- 総合討論



東京女子医科大学 放射線腫瘍学講座
教授・講座主任 唐澤 久美子 先生



東京医科大学医学部 口腔外科学分野
主任教授 近津 大地 先生

がん薬物療法や放射線療法において高頻度で発症する口腔粘膜炎は、患者のQOLを低下させ闘病意欲を減退させるだけでなく、治療完遂率の低下や全身感染症の原因となるなど、治療に少なからず影響を与える。一方で、がん治療に伴う口腔粘膜炎に対する標準的な治療法は確立しておらず、その対応に苦慮するケースも多い。

こういった課題を踏まえ、日本がんサポーターズケア学会粘膜炎部会の副会長である唐澤久美子先生より、がん治療に伴う口腔粘膜炎の現状について解説するとともに、同部会長である近津大地先生より診断、治療について解説する。

加えて、症例を通じた実際の対処について聴講者の皆様とともに考えたい。

人数把握のため、ご参加いただける方は **7/25 (木) までに**
外来化学療法センターまでご連絡ください。